

コロナと木材業界

小生は1928年10月14日生まれの62歳です。ワクチン接種、第一回目6月20日に、第二回目は7月18日に接種しました。

1回目を打った時の感想は、やれやれ、ここまで来るのが長かったけれど、何とか無事に新型コロナウイルスに感染しなかったのはラッキーだなと思いましたが、自分達だけが良かったからと言う発想は凄く危険な考えだとすぐに思い直しました。

コロナ以前には戻らないと世間は言いますし、正直コロナ後がどんな日本国になるかは、我々国民の行動次第だと思います。その為には振り返る事が大事です。

- 1, まさかサファイアプリンセスから始まった新型コロナウイルスが世界中に蔓延すると思いませんか。
- 2, 日本は当初新型コロナウイルスの感染者が激増しませんでした。当時言われたファクターXが本当に有ったと思いませんか。
- 3, 政府が頼りないと感じてはいませんか。
- 4, オリンピックが日本以外の先進国で開催されていたら、本当に開催されたと思いませんか。
- 5, 2020年は10万円の一律給付、持続化給付金、家賃支援金の政策が実行されました。2021年も2020年度と同様経済状態が思わしくないのに、経済対策をなおざりにしているように見えませんか。

最近の木材関係の動きを以下に書きます

1. 2021年度からアラスカ材の輸入が止まった。
2. 2022年度から予定されている、ロシア材広葉樹原木の輸出禁止が実行されそうです。
3. 新潟県にある合板工場が2021年3月末で工場を閉めました。
4. 2018年8月20日、福山に有った米松製材業者 東亜林業、製材業から撤退した。
5. 2020年石井産業(和歌山)さん、アラスカ材から撤退

冷静に考えると所謂供給不足が起こる事は想定できたと思います。しかし出来なかった。何故でしょう。それは日本人の今回のパンデミックで象徴されていると思います。

欧米は非常事態です。日本は緊急事態です。この違いこそ日本人らしさだと思います。鏡が有ります。そこに立ちます。写っているのは自分自身です。自分自身=今の日本国そのものだと思います。政治的発言をしているのでは決して有りません。ワクチン同様打ちたい人、打ちたくない人がいることが大事なのです。ワクチン接種者は大規模なコンサートに堂々行けば良いと思います。しかしワクチン接種をしない人は行かないで良いのだと思います。これは差別ではありません。人間の健康を守る区別です。差別と区別は全く違います。非常事態と緊急事態が全く違う事と同じだと思います。

東日本大震災を経験した日本人は非常事態に対してもっと真摯に向かうべきです。

これからの住宅

服部雅章の40年前の経験を思い出しながら纏めました。

- 1, ヒノキ・スギの内部造作材を使って欲しい。
- 2, 通し柱を設計に入れて欲しい。
- 3, 立派な玄関を作って欲しい。
- 4, 和室を最低1部屋作って欲しい。

森林の恵みは人間の勝手になりません。森にいったん手を入れたら林になります。林は森以上に人間の欲求が通らないのです。森と言う生き物は山のどこに何が生育するのがベストなのかを知っていますが、林は自然の営みを無視して作られた生き物なので、人間の手入れと人間の知恵の有る木の使い方が必要です。

日本国内の林に植林して生産された材の価格が m^3 当たり30,000円以下の原木代金で採算が合いません。それが正しい価格に戻ろうとしている有様をウッドショックと呼んで良いのでしょうか。

40年昔ヒノキの柱取り(3メートル直径14センチ~22センチ)の単価はおよそ50,000円/ m^3 ~60,000円/ m^3 でした。また柱取りの中で元一番玉が殆どのロットは100,000/ m^3 以上でした。

柱取り以外の鴨居取りの4メートルの22センチ以上の原木もそれなりの単価でした。直径6センチから8センチの小径木も売れていました。当時垂木に使われました。その中に3尺無節と言う商品もありました。垂木が見える軒の下が見えるのが3尺です。4メートルの垂木の中から端から3尺無節を選んで別バンドルで販売していました。凄く日本のヒノキ・スギを大事に使っていたのです。

針葉樹だけでなく広葉樹特にケヤキも結構使われていました。大黒柱だけでなく、家の門にも使われていました。このケヤキは比較的細い原木を芯持ちで使用されていました。使用される事で山の伐採計画も針葉樹・広葉樹がベストな形で森林から供給され災害にも強い国土だったのです。

以上簡単に述べましたが、森・林から生産される木を材木にする事によって不可価値を上げなければ日本人の幸せは来ないと考えています。

私は住まいを作る方に以下の事をお願いします。

- 1, ヒノキ・スギの並材だけでなく色物も多く使って頂きたい。
- 2, 安易に仕入先を変えないで欲しい。入手困難な次期は特にお願いします。見積もりは良いが、注文するつもりもないのに当て馬の見積もりは取らないで欲しい。
- 3, 発注までに仕入先と十分な打ち合わせをして頂きたい。
- 4, 出来るだけ材の指定(〇〇さんの材)を行って頂きたい。
- 5, 役に立つ材木屋を使って頂きたい。
- 6, 積算根拠をはっきり出して欲しい。

1~6まで書きました。小生は日本の現実『毎年日本国内の森林の成長数量は1億m³です。消費は6千万m³です。』供給可能数量の方が圧倒的に多いのに、何故か外材に依存してしまつた。それを反省して理想の国内産木材使用数量のベストミックスを考えて欲しいです。

ウッドショックをウッドチャンスに変えようと大規模な製材工場は動いています。森林家・市場・製材工場・設計士・工務店・プレカット工場等の関係者がオール日本になって取り組んで欲しいと思います。それは可能だと思います。

しかし林から生産される木材が本当に日本国民全員の為になるには、一つ大きな事が抜けています。それは国からの補助金です。補助金の源は税金です。

具体的な話をします。我々の税金が入った林から生産される針葉樹を主に中国に輸出しています。関西に有る大手の合板工場の社長は『国民全ての負担・税金で作られている針葉樹を中国に安価な価格で輸出する行為は補助金を中国に無償であげているのと全く同じ事であって、材木屋がしてはならない自殺行為ではないか』木材新聞で訴えていました。小生も全く同じ考え方です。

補助金を断ち切る事と日本人の魂を守る事は両立するのです。ヒノキ・スギを上手く使いこなすのは日本人の責務です。

南洋材は入らない。アラスカ産針葉樹も入らない、ロシア産広葉樹も原木での輸入は見込めない、アフリカ材の輸入もままならない。そんな状況の中で、和室はいらないと言う単純な発想でウッドショックを自ら大きくしたのです。

* 和室が最低1部屋でも作られている住まい作りを過去20年前から行って頂けていたなら、世界中が新型コロナでパンデミックに落ち込んでもここまで酷い木材の供給不足、ウッドショックにはならなかったと感じています。

日本人らしい意地はないのですか。日本人に生まれた事を誇りに思わない日本人はいない筈です。外材に頼ったら駄目と言っているのでは有りません。

現在日本の富はトヨタ自動車等の車産業等が稼いでくれた外貨で海外の資材を買えるのです。しかし未来永劫続く筈は有りません。

その事が解っていないながら何もしない事で本当に日本人は暮していけますか。床の間の有る住まいのどこが悪いのですか。押入れの有る家のどこが悪いのですか。玄関が立派な住まいのどこが悪いのですか。

10数年しか使えない床暖房、浴室乾燥機等に大金を払うことや、補助金に頼った林業政策をこらで辞める決意をしようでは有りませんか。

新型コロナワクチン

8月3日と4日で服部商店の社員全員のワクチン希望者の摂取が終わります。昨年から続くパンデミックに対してまず出来る事は服部商店の社員全員を守る事です。

正直やれやれと思っています。普通の生活を取り戻して頂き、弊社の御客様にも正常な経済活動を行って欲しいと思います。

服部商店からのお盆休み感謝セール

頑張れ負けるな新型コロナ

2021年8月1日～8月31日

服部商店のホームページに掲載しています商品全体が対象商品です。

8月11日～8月16日の期間お休みを頂きます。

8月10日～8月16日の期間商品代金だけで50,000円以上ご購入のメールを頂いた方全て10,000円のアマゾンギフト券を差し上げます。商品が重複する場合は早い方を優先します。

新規・お得意先様向けのキャンペーン 8月1日～7日 8月17日～8月31

日毎週先着にて、30,000円以上（木材代金のみ・消費税・諸経費を除いて）

御買い上げの5名様に、アマゾンギフト券

5,000円を差し上げます。

